

編集後記：1月6日は関東南部を中心に大雪が降りました。私はつくばにいたのですが、つくばでもどどん雪が積もり、帰宅時には10 cmほどになっていました。久しぶりに一面真っ白な視界に嬉しくなって高層気象台からつくば駅まで徒歩で帰宅しました。帰宅途中、道端のあちこちに雪だるまを発見。うちの子供たちも久しぶりの大雪に大はしゃぎ。雪だるまを作り始めた子供を見て、自分も思わず作り始めてしまいました。下の子ができあがった雪だるまを見て「雪だるまって、何で雪だるまって言うの？」と聞きました。それは「だるま」の形を雪で作ったからだよ、と上の子が答えているのを聞きながらふと思いました。雪だるまは雪玉を重ねたもので、だるまとはちょっと違うような…あまり細かいことは気にしないでいいのかもかもしれませんが。

話が飛ぶのですが、上の子は小学校での自主学习で

生き物（魚類から鳥類、昆虫、恐竜など）の絵をよく描いています。ところが先日、「異常気象」の図鑑を見ていて「これに決めた！」と選んだのは「積乱雲の一生」。かなとこ雲を見ていた子供が「雲ってなんで成層圏の中まで昇っていかないの？」と私に聞きました。それはね、と答える自分。「へえ、そうなんだ。ところで“かなとこ”って何？」と聞かれました。恥ずかしながら、「かなとこ」とは何かを知らず、ネット検索して調べてしまいました。画像を見て、ああ、これかと思いつつ、実物は見たことないような、と考えさせられました。ちなみにうちの子は「ゲームで見たことあるよ」と教えてくれました。一体何のゲームだろう？そしてうちにはビデオゲームの類はないのだけど…知っているようで知らない気象に関わる用語の意味や由来、色々ありそうです。

(沢田雅洋)